神明われら　誇りは高し　平成 30 年 5 月 11 日
学校　http://www.suginami - school.ed.jp/sinmeichu/
教育目標　創造・鍛錬・共生　校訓　自主・自律

「体育」から「スポーツ」へ

副校長　大柴浩一

平成３０年度が始まり、もう１か月が過ぎました。今年度より副校長として、宮前中学校より異動してきました。大柴浩一です。よろしくお願いいたします。中学生の時より体育の教師を目指し、高校・大学と専門の道を進み保健体育教諭として、体育の道をずっと進んでまいりました。

今年度より、神明中学校に着任し、すべての生徒が充実した学校生活が送れるように副校長として尽力していきたいと思っています。私も体育の道をずっと過ごして来ましたが。最近は、体育からスポーツへと替りの節目にきているのではないでしょうか。

≪体育とスポーツの違い≫

日本体育協会が日本スポーツ協会に変更されました。「体育」から「スポーツ」への名称変更は、何を伝えようとしているのか。スポーツとは本来、楽しむことが根底にあります。「体育」規律を教える。決められた課題を乗り越えようとする教科であるのに対し、「スポーツ」は自主性、自発性を重んじる。個人として「考え、判断する能力」を必要とするものです。スポーツマンシップを教えるのは、「扱いやすい態度」を身に付けた「良い子」を育てることではない、ということです。これが「体育」との最大の差です。スポーツを通じてスポーツマンになることは、単に運動能力だけでなく、人格的能力に優れることを意味します。

先日、ピョンチャンパラリンピック金メダリストの成田緑夢選手が突如、パラスノーボードからの引退を宣言しました。「次の一歩に全力で挑むため」という。拍子抜けする一方で、苦労して築いた地位をあっさりと捨て、前へ進む姿に爽快感を覚えました。そこに「スポーツ」があった。協会の新たなキャッチフレーズは「スポーツと、望む未来へ」。前に進み、新たな自分と出会うために「スポーツ」を始めるには、年度替わりの節目はいい機会かもしれません。

しかし、スポーツの原則が置き去りになってはいけません。公平な状況でしのぎを削ってこそ、スポーツ競技は成り立ちます。２月の平昌冬季五輪での女子アイスホッケーで五輪史上初めて南北合同チームの結成。卓球の世界選手権団体戦女子での準々決勝の対戦前の合同チームの結成。みなさんは、どうお考えでしょうか。

世界的に注目されるスポーツ大会から政治色を完全に排除するのは、難しいのが現状です。２０２０年東京五輪でも課題となるのでは。でもスポーツは、汗・涙・感動を与えてくれるものであってほしいです。

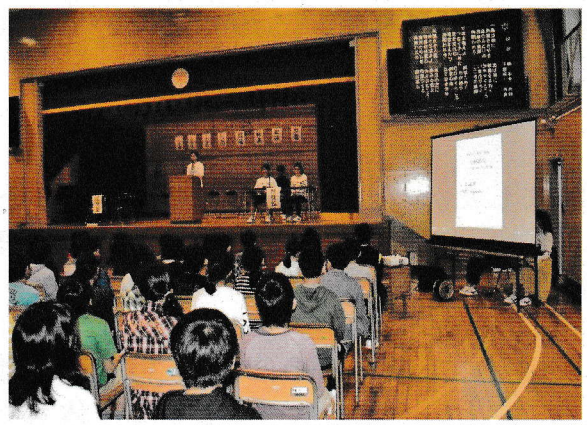
東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会まであと２年！！

《４月のアルバム》

新入生歓迎会

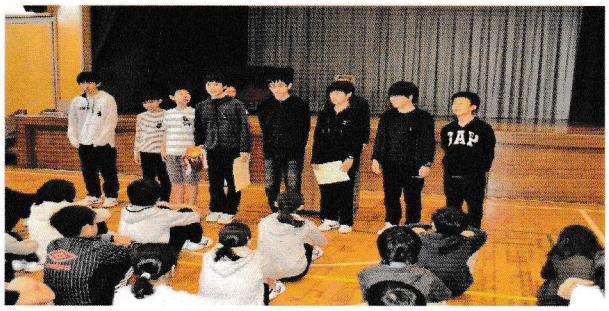
部活動ガイダンス

生徒総会



離任式

全校朝会（表彰）



【５月の予定】

体育大会練習始まる

１４（月）～１６日（水）
　１年フレンドシップスクール
１７（木）耳鼻科検診（全）
１８（金）ＰＴＡ総会
２１（月）全校練習
２３（水）体育大会予行①～④
２４（木）心臓検診
２６（土）体育大会
２８（月）振替休業日
２９（火）弁当持参
３０（水）歯科検診（全）